

## 福岡県公安委員会活動状況

### <定例会の主な議題及び要旨>

令和5年3月9日（木）

#### 【報告事項】

#### 1 令和5年先輩を送る記念式の実施について

（警務部）

警察本部から「3月23日、博多サンヒルズホテルにおいて、4年振りとなる先輩を送る記念式を実施する。山本委員長には、公安委員会感謝状の贈呈及び祝辞をお願いする。」旨の報告があった。

#### 2 暴力行為等処罰に関する法律違反事件被疑者の逮捕について

（暴力団対策部）

警察本部から「田川警察署、飯塚警察署及び暴力団犯罪捜査課は、令和4年11月26日、田川郡大任町に所在する商業施設において、被害者を屋外まで連行し取り囲んだ上、「都合のいい仕事ばかりしやがって覚悟しとけよ、殺すぞ。」等と脅迫し、数人共同して暴行脅迫を加えた暴力行為等処罰に関する法律違反事件について、3月7日、太州会傘下組織組長ほか2人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「組長とともに逮捕された2人も暴力団員なのか。」旨の発言があり、警察本部から「組長の配下の暴力団員である。」旨の説明があった。

公安委員から「当該傘下組織は精力的に活動しているのか。引き続き、各種対策を推進してもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「精力的に資金獲得活動等を行っていることを確認している。引き続き、被害者等の保護対策に万全を期すとともに、各種対策を推進していく。」旨の説明があった。

#### 3 交通死亡事故多発に伴う緊急対策の実施について

（交通部）

警察本部から「県下の交通事故死者数が3月6日時点で21人となり、前年同期比で10人増加していることを受け、3月8日から同月17日までの10日間、県下全域において、交通指導取締りを中心とした緊急対策を実施する。本年に発生した交通死亡事故を分析した結果、二輪車及び歩行中の死者が2倍に増加、午後4時から午後10時までの間の交通事故死者数が大幅に増加、65歳以上の高齢者の交通事故死者数が約3倍に増加などの特徴があることから、幹線道路等における交通指導取締り、交通指導取締りと連動した広報啓発活動及び交通死亡事故抑止に資する街頭監視活動の強化を実施することとしている。」旨の報告があった。

公安委員から「高齢者に対しては、どのような広報啓発を行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「高齢者については、道路の横断中に事故に遭う場合はもちろん、運転者として事故を起こす場合もあることから、横断する際の安全確認や安全運転の徹底等について広報啓発を行っている。」旨の説明があった。

公安委員から「日常生活の中で、青信号でなかなか発進しない車両などを見かけるが、注意が散漫になっている運転者が多いことも交通事故が増加している一因ではないか。」旨の発言があり、警察本部から「そのような車両については飲酒運転等の可能性もあることから、積極的に職務質問を行っている。街頭監視活動の強化等により、交通事故の未然防止に努める。」旨の説明があった。

公安委員から「前年同期比で倍増しており、何とか抑え込んでもらいたい。」、「高齢者に対する効果的な広報啓発をお願いします。」旨の発言があり、警察本部から「今回

の緊急対策では、高齢者が当事者となる交通死亡事故が大幅に増加していることを踏まえ、交通指導取締りと併せて広報啓発活動を実施し、交通死亡事故の発生を抑え込んでいく。」旨の説明があった。

#### 4 詐欺及び携帯電話不正利用防止法違反事件被疑者の逮捕について

(警備部)

警察本部から「公安第三課及び中央警察署並びに大阪府警察は、令和3年3月中旬、東京都所在の携帯電話機販売代理店において、第三者に利用させる意図を秘し、自己を利用者とする通信サービスの契約等を申し込んで携帯電話機等をだまし取った詐欺事件、また、同月中旬、福岡市内において、某男に対し、自己が契約者となっていない携帯電話機を譲渡した携帯電話不正利用防止法違反事件について、3月2日、革労協反主流派最高幹部の男性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者と携帯電話機を譲渡した男性とはどのような関係か。」旨の発言があり、警察本部から「被疑者が携帯電話機を譲渡した男性は、革労協反主流派傘下労働組合の関係者である。」旨の説明があった。

公安委員から「革労協の活動は活発化しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「革労協は、本年開催されるG7広島サミットへの反対を表明するなどしており、動向を引き続き注視していく必要があると考えている。」旨の説明があった。